

Ipsenについて

1948年よりIpsenは工業用の雰囲気炉、真空炉、監視制御システムを設計製造しています。この先進的設備は航空宇宙、自動車、熱処理業、エネルギー、医療、金型、工具など様々な業界で御利用頂いております。

創設者ハロルド・イプセンのように我々も技術革新が高性能を実現化すると信じております。Ipsenは次のような分野でお客様に高品質のソリューションを提供することをコミットします。例えばチタン製医療用インプラントの改善、効率的な自動車やジェットエンジンの開発、宇宙開発等です。

70年近くにわたり熱処理プロセスに携わり、世界中に数千のシステムを導入した経験をもとに、Ipsenは360の1対1サポートをお約束致します。

真空熱処理

Ipsenはお客様に柔軟な対応をしつつ、厳しい業界の要求にも合致する真空熱処理技術を提供致します。

プロセス中の加熱、冷却制御の向上、有効硬化層深さの精密化、均熱性の向上、フレキシブルな冷却オプションなどのご要望にもお応えいたします。

弊社では各種サイズの真空炉をご用意し、焼鈍、ろう付け、焼入れ、真空浸炭、SolNit、応力除去、焼戻しなど多岐に渡るプロセス（処理）に対応した製品を取り揃えております。

雰囲気熱処理

Ipsenは最も実績数の多い雰囲気炉製造拠点であり、お客様が信頼し必要とするオプション、設備を最適正なソリューションで提供することが可能です。

IpsenのATLAS（バッチ式雰囲気炉）シリーズは過去の雰囲気炉での成果を継承しながら高効率なエネルギー制御や既存ラインへの統合の容易性などの技術革新を組合わせています。

アフターサービス

制御系のアップグレード、加熱室交換、部品、メンテナンス、工事などによる設備能力の維持、炉の故障による停止時間を減らしたいとお思いの方は是非、Ipsenのアフターサービスチームまでご連絡下さい。

アメリカ、ヨーロッパ、アジアに生産拠点をもち、販売拠点が34ヶ国にも及ぶIpsenを是非お選び下さい。

Ipsen株式会社
本社
〒538-0032
大阪府大阪市鶴見区安田2-3-2
TEL: 06-7506-9705
FAX: 06-6915-1132
sales@ipsen.co.jp
www.ipsen.co.jp



TITAN[®] 2.0

次なるイノベーション



Hard Work Wins



Hard Work Wins

強力なパフォーマンスを誇る、最新鋭技術と予測保全の機能を携えたコンパクトな真空炉、それがTITAN[®]2.0です。

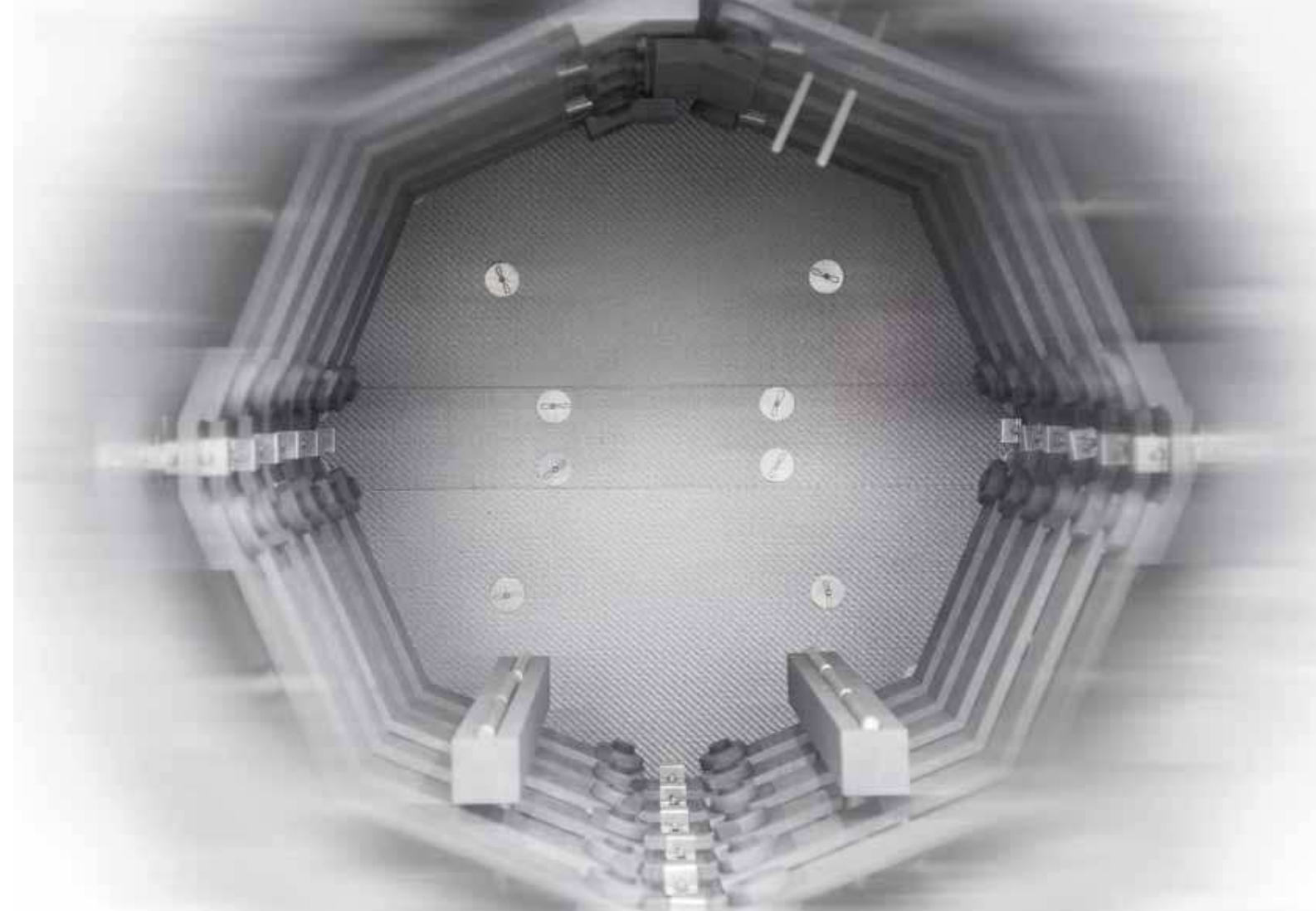
TITAN 2.0には、予測保全のソフトウェアである PdMetrics™が標準装備しています。またお客様からのフィードバックを元に改善され、ユーザーフレンドリーを実現してグローバルプラットフォーム、省設置スペース、短納期の特徴はこれまで通り引き継いだ製品となっています。

オリジナルのTITANは標準化モデルの真空炉としてマーケットに導入されました。その特徴としてはプロセスの多用途に対応し、温度分布性能が良く、短納期でコンテナでの輸送が可能である為、世界のどこでも簡単に設置しお使いいただけるものでした。イノベーションというIpsenの伝統を継続することで、今回のTITAN 2.0でも画期的なデザインが採用されています。あらゆるレベルで強化された機能と統合された技術を有するプラットフォーム上に機器類を配置することで当社独自の生産フローを可能なものにしました。



TITAN 2.0 の性能一覧

- 横型真空炉、最大冷却圧力2bar
H2サイズのみ、海外においては12bar冷却仕様選択可能
- 予測保全と炉体診断用PdMetricsソフトウェアプラットフォーム
- 20言語以上に対応が可能
- 高効率な熱制御と通信機能を強化し診断機能を備搭載したインテリジェントSCR（サイリスター）を採用
- 炉体周りに強固な金属製フレームを設置することで炉体周辺での作業から炉を保護し、アクセサリ取り付け用のフレームとしてご利用いただけます
- 炉体の重要パラメーターを遠くからでも視認可能なタッチスクリーンと文字のスクロール機能付高解像度ディスプレイ
- 標準的な焼入れ、焼戻し、焼鈍、ろう付けなどの熱処理をサポート
- 標準的なオプションを追加することで機能の拡張が可能



メリット

- AMS2750、Nadcap、Medaccredの該当要求仕様の対応可能
- 540°C~ 1320°C間の高精度な温度分布(5°C)を達成
- レイアウト面積の約40%を削減※1、コンパクトなデザインで据付け時間を削減
- 高効率パーツの使用によるパーツコストの削減と約20%のガス消費量の削減※1
- 再構成された設計によるメンテナンス性の向上

※1 従来の真空炉との比較

型式:	有効寸法: (W x L x H)	最大処理重量:	使用温度:	最大冷却ガス圧: (絶対圧)
H2	455 mm x 610 mm x 455 mm	450 kg	540 °C – 1,320 °C	2 bar
H4	610 mm x 1,220 mm x 710 mm	900 kg	540 °C – 1,320 °C	2 bar
H6	915 mm x 1,220 mm x 915 mm	1,350 kg	540 °C – 1,320 °C	2 bar

PdMetrics—パワフルでもシンプルな診断法

予測保全を目的としたIpsenのPdMetrics™ソフトウェアは、TITAN2.0用の部品交換の適切なタイミングを決定するために独自のセンサーと制御アルゴリズムを利用しています。このソフトが何らかの対応が必要だと判断した場合、自動アラートがお客様とIpsenの両方に送信されます※2。これはお客様に前もって通知するだけでなく、前もって必要な部品の手配や、スケジュール通りに段取り良くサービス要員を手配したりすることを可能にします。

PdMetricsを介して炉体の温度、振動、圧力等の重要なデータやパラメーターを監視することで、加熱室、排気システム、冷却システム、真空度などの重要なシステムの安定稼働を可能にしています。

その他の特徴:

- 複数の炉体を統合してスクリーンに表示可能
- 使用時間と損耗具合に基づいたパーツ交換時期の通知
- スマート・コネクティビティーを活用したユーザーへのメール、テキストメッセージの送信
- Ipsenのサービスクラウドを経由したテクニカルサポート

※2 標準装備のnetwork connectivity packageでIpsenが推奨するガイドラインに従って確立した場合。